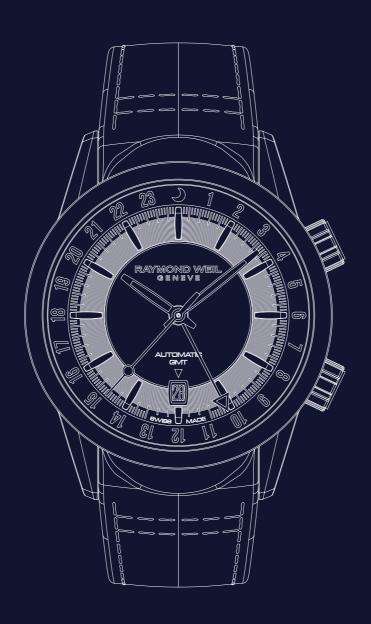
# RAYMOND WEIL GENEVE

# INSTRUCTIONS FOR USE

REF. 2761

SELF-WINDING MECHANICAL WATCHES
WITH GMT FUNCTION



# はじめに

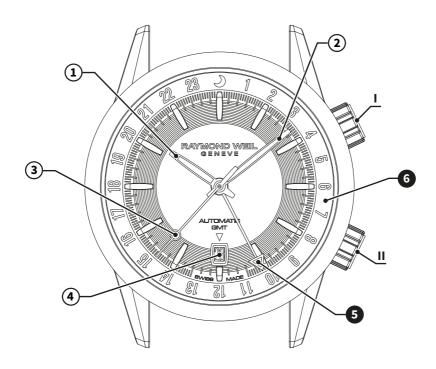
このたびは、RAYMOND WEILの時計をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。RAYMOND WEILの時計は、スイス時計業界の最も厳しい品質基準に従って、熟練した時計職人が手作業で組み立てています。お客様の時計を末永くご愛用いただくために、この取扱説明書および国際保証書をよくお読みいただきますようお願いいたします。この時計は、機械式自動巻きムーブメント、GMT機能、50時間のパワーリザーブを備えています。

注:時計が止まってしまった場合

2時位置のリューズを時計回りに20~30回回してください。時計を装着すると、手首の自然な動作に合わせて自動的に巻き上げられます。

# 文字盤の機能

フリーランサー GMTには、24時間を表示するフランジが付いており、GMT針とフランジにより第二時間帯を確認することができます。



- (1) 時針
- (2) 分針
- (3) 秒針
- 4 日付表示

- **5** GMT針
- 6 24時間を表示するフランジ

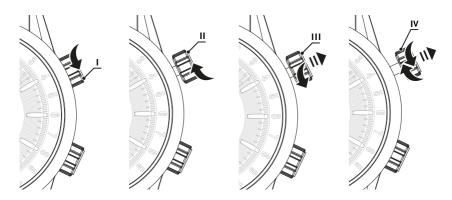
■ 2時位置リューズ

■ 4時位置リューズ

MT機能

## 日付・時刻の調整

巻き上げや日程・時刻の調整は、2時位置リューズを操作することで行います。まずは、リューズを反時計回りに回し、ねじ込みを解除してください(I の位置からII の位置に引き出てきます)。調整が完了したら、時計の防水性を維持するために、リューズを垂直に押しながら時計回りに回してねじ込みます(II の位置からI の位置に戻ります)。



## 日付の調整

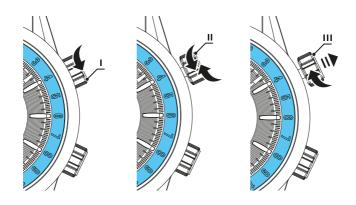
2時位置リューズを1段引き出します(Ⅲの位置)。リューズを反時計回りに回し、日付を調整してください。時針が0時を過ぎると、日付は自動で変更されます。ムーブメントが損傷する恐れがあるため、22時から2時の間は、手動で日付を変更しないでください。調整が完了したら、リューズを垂直に押して引き出しを戻し、さらに垂直に押しながら時計回りに回してねじ込みます。

## 時刻の調整

2時位置リューズを2段引き出します(IVの位置)。リューズを時計回り・反時計回りに回し、時刻を調整してください。調整が完了したら、リューズを垂直に押して引き出しを戻し、さらに垂直に押しながら時計回りに回してねじ込みます。

## 第二時間帯(GMT針)の設定

2時位置リューズをⅠ段引き出します(Ⅲの位置)。リューズを時計回りに回し、24時間表示リングを参照しながらGMT針を調整します。調整が完了したら、リューズを垂直に押して引き出しを戻し、さらに垂直に押しながら時計回りに回してねじ込みます。



下図の例では、時分針がジュネーブの時刻=10時8分 (ローカルタイム=現地時刻)、GMT 針がロンドンの時刻=9時8分 (ホームタイム=第二時間帯)を示しています。



#### 第三時間帯の確認

フランジを回転させることで、さらに別のタイムゾーンの時刻も確認することができます。まずは、4時位置リューズを1段引き出します(Ⅲの位置)。リューズを時計回り・反時計周りに回し、フランジを回転させて、月のアイコンを0時位置にセットしてください。次に、知りたいタイムゾーンと現在設定している第二時間帯の時差のぶんだけ、フランジを回転させてください(知りたいタイムゾーンのほうが時間が遅れている場合は時計周り、早い場合は反時計周り)。最後に、GMT針と中央の分針が示す時刻を読み取ってください。

例:第二時間帯にロンドンを設定していて、東京の時刻を知りたいとき 東京はロンドンよりも9時間早いので、フランジを反時計回りに9時間ぶん回転させます (フランジの9が12時位置にセットされます)。GMT針と中央の分針が示す時刻を読み取 ります。第二時間帯に戻るときは、フランジを回転させて、月のアイコンを0時位置にセットしてください。

